

令和8年度 豊島区立池袋第一小学校

# お子さんの健やかな成長を共に支える ～学校経営方針～

---

「安心」と「学び」の環境づくり

校長 中澤 一利

“「人として尊ばれ、お互いの生命や人権を尊重し合い、地球上で夢と優しさをもち、自らを磨き、心身共に健康でたくましく生きようとする児童を育てる。」”

この目標を実現するため、物理的・心理的な「安全」を土台とし、確かな「学び」を提供します。

# 目指す児童像：「い・け・い・ち」の構造化



**【い】**

生かせ学び（すすんで学び、やりぬく）

コンピテンシー：学びに向かう力



**【け】**

健康増進（すすんで体を動かし元気に活動）

コンピテンシー：健やかな生活を送る体力・精神力



**【い】**

一途な夢（自分のよさを伸ばす）

コンピテンシー：自己肯定感と自己有用感



**【ち】**

地球人の優しさ（友達と優しく協力）

コンピテンシー：豊かな心と人間関係形成能力

# 今年のテーマ：「森の中の学校」

人とのつながり・  
学びの中に  
「楽しい」を  
見付けよう

## 人とのつながり

多様な価値観に触れ、  
互いの良さを認め合う体験

## 学び

個別最適なアプローチで、  
自ら問いを立てる喜び

「楽しい」という実感が、子供たちの自己肯定感を引き出します。

# 学校運営を支える3つの柱

①

安全安心な学校

多様性を認め、  
豊かな心で  
共に支え合う

②

学びを楽しむ学校

学ぶ楽しさと  
喜びを実感し、  
個性や能力を伸ばす

③

開かれた学校

学校・家庭・地域  
がつながり、  
全体で育てる

学校・家庭・地域社会との協働体制

# 柱1：多様な子供たちを守る「安全・安心」の土台

**人権尊重と  
心のセーフティネット**  
全教育活動を通じた生命の尊重。  
誰もが安心できる居場所づくり。



## 人間関係づくり

全教育活動を通じた生命の尊重。  
誰もが安心できる居場所づくり。

## 多様性の受容

国籍、性別、障害の有無に関わらず、  
互いのよさを認め共に支え合う教育の推進。

## TSSの推進と連携

児童主体のTSS活動、池中ブロック(小中連携)  
による地域ぐるみでの危機回避能力の育成。

心理的安全性が、子供たちの学びの充実につながります。

## 柱2：「学びを楽しむ」ためのハイブリッドな教育環境



### ICTの日常化

1人1台端末とデジタル教科書を活用。主体的・対話的で深い学びを実現する「個別最適な学び」。



### 多様な子供への支援

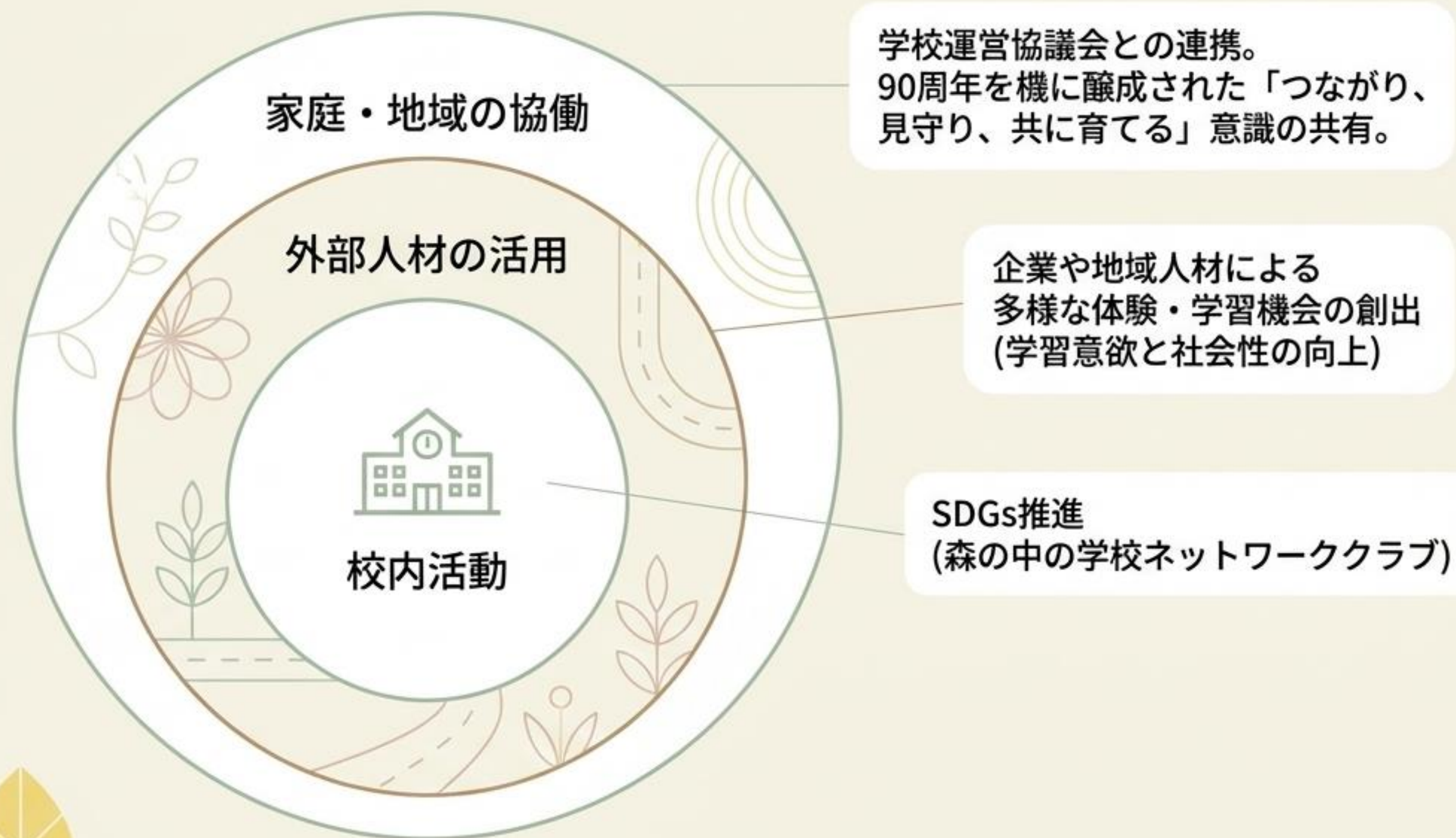
特別支援教室・特別支援学級における、個別の教育計画に基づく効果的で寄り添った指導の徹底。



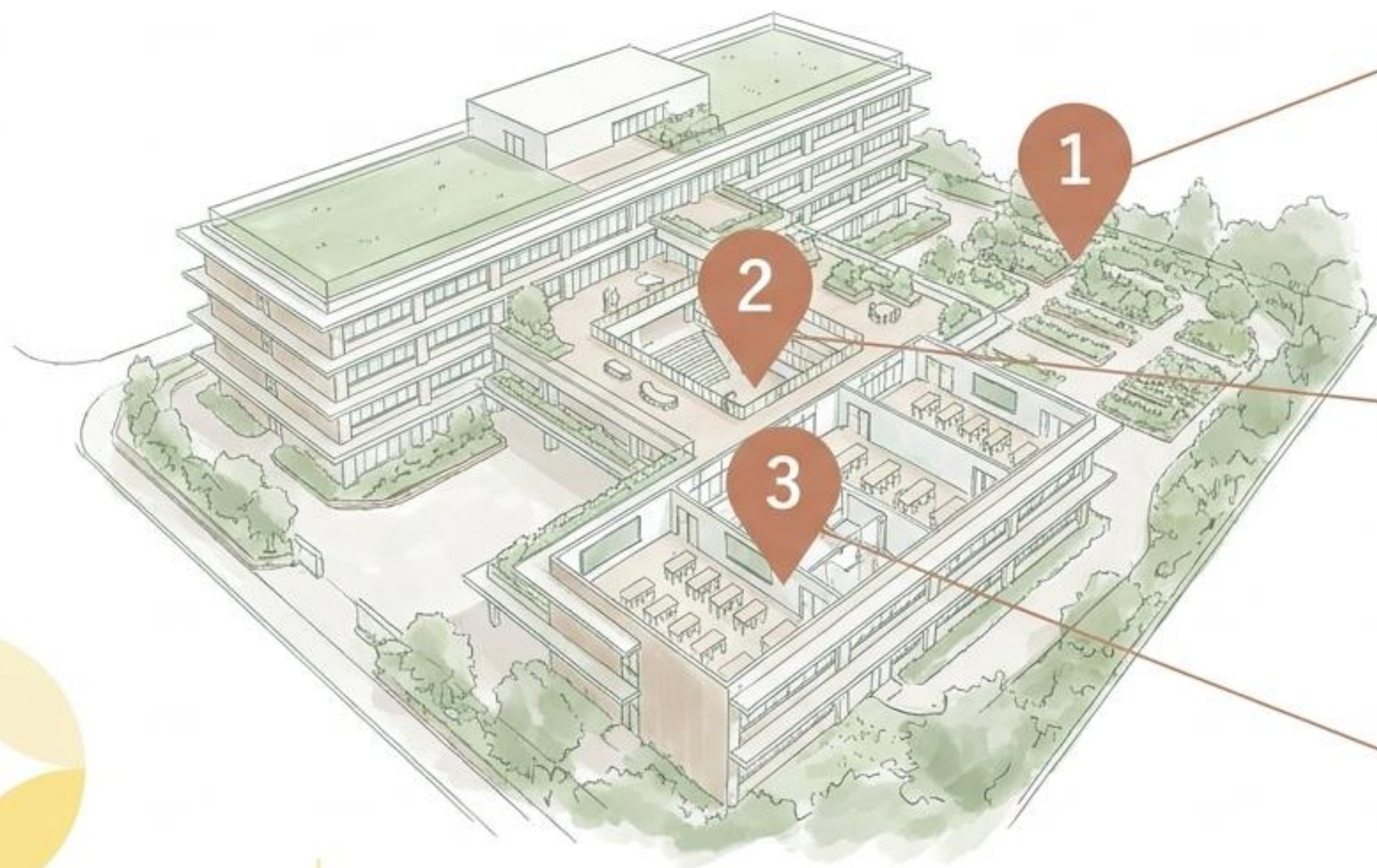
### 健康・食育の推進

誰もが楽しめる運動活動や実態に応じた保健指導による、健やかな生活基盤の構築。

## 柱3：地域社会と連携する「開かれた学校」



# 「生きた教材」としての施設環境



## 35,590ポットの植物

日常的に自然と触れ合い、豊かな感性を育む「生きた教材」。

## 3・4階吹き抜け 学習情報センター

子供たちの探究学習のハブとなる、開放的で知的好奇心を満たす空間。

## 全教室配備の電子黒板

ICTインフラの完備により、視覚的で分かりやすい質の高い授業を保障。

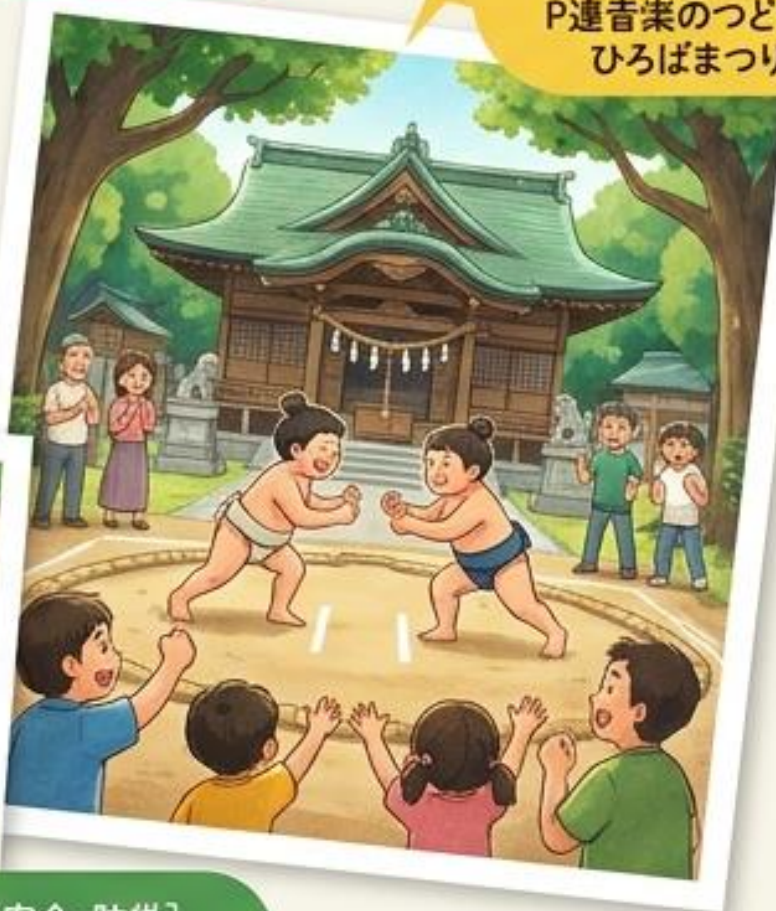
# 地域にとびだそう！ 行事で高まる「総合的な学習の時間」

3年生以上を対象とした、実社会とつながる新しい学びのカたち

魅力がたくさん！地域のイベント！



〔伝統・文化〕  
氷川神社相撲大会/  
お祭り・おみこし/  
豆まき



〔交流・絆〕  
P連ソフトボール/  
P連音楽のつどい/  
ひろばまつり



〔安全・防災〕  
避難所訓練 等

文部科学省通知に基づく学習のメリット



## 実社会とのリンク

実社会・実生活との関りを重視した学習指導要領の趣旨を実現。



## 多様な学習活動

地域の教育資源の活用により、個々の児童生徒に応じた学びを充実。



## 休日の有効活用

教師の引率なしで休業日に「総合的な学習の時間」の四分の一程度まで展開可能。他教科や学期前後に「3時間のゆとり」を創出。



〔学校〕

事前学習・学習計画

いつ、どこへ、誰と、  
何をする?を自ら計画。



〔学校〕

事後学習・共有

感想をまとめ、クラ  
スで伝え合うことで  
学びを定着。



〔地域・家庭〕

実社会での体験  
実際の行事に参加し、  
地域のよさや楽しさを  
肌で実感！



# 成長の途切れを防ぐ、一貫した学びの推進

【幼・保⇒小】  
就学前教育の充実

環境変化の不安を和らげ、スムーズな学校生活への適応を支援。

【池一小】  
コア実践

基礎学力の定着と、  
自他を尊重する豊かな人間性の醸成。

【小⇒中】  
一貫した学びの推進

中学校への滑らかな接続を見据えた、学習・生活面での一貫したサポート。

# 教職員のスタンス



**自身のよさを生かし、  
組織として協働する**

個人の専門性を学校全体の力へ。見通しを持った誠実な対応。



**心身共に健康で、  
信頼される存在**

心のゆとりを持ち、児童の模範となる。相談・意見には組織で迅速・丁寧に対応。



**授業力の向上を目指し、  
学び続ける**

人権感覚を常に磨き、各種研修を積極的に活用して指導力を高める。

# 戦略的基盤：働き方改革は「子供たちへの再投資」



教職員の心身の健康と時間のゆとりが、そのままお子さんへの「個別最適な学び」と「温かい居場所づくり」の質に直結します。

結びに

# つながり、見守り、共に育てる

---

私たちは、保護者の皆さん、そして地域の方々との対話を何よりも大切にしたい思いです。  
お子さんの小さな変化や成長の喜びを分かち合い、パートナーとして共に歩んでまいりましょう。

令和8年度も、ご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。